

●協働学習

■児童生徒実践型

実践タイトル タブレットPCを使つての協働学習

本時のねらい

班別自主研修で学習したことを班ごとに新聞にまとめる。生徒一人ひとりがタブレットPCで情報収集し、記事を編集する。協働学習支援ソフトウェアを用いて、複数のタブレットPCから同時に一つの新聞に編集ができるため、意欲的に作業に取り組むことができる。また、完成した記事を電子黒板で拡大表示し、学級全員で検討することにより、効率的に新聞作りができる。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

生徒が書いた記事、感想文や集めた情報（デジタル写真やインターネットで収集した画像）を一つの新聞としてより効率的に編集できる。インターネットなどをを用いた資料収集を、生徒が自分で直接、素早くすることができる。

PC教材

協働学習支援ソフトウェアを用いて生徒一人ひとりがタブレットPCから入力することにより、作業を効率的に行うことができ、班員全員が話し合う時間を多く確保できる。また、製作途中であっても電子黒板に表示し、他グループと比較検討し、よりよい新聞作りのために意見交換ができる。

参考にしてほしいポイント

従来、1枚の模造紙に数名で取り組んでいたことを、協働学習支援ソフトウェアを使って、短時間で効率的に作業を行うことにより、作文したり、話し合ったりする時間を十分確保したうえで、作品を完成することができる。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	0 ○まとめの新聞作りのポイントの説明を聞く。 ・段組やレイアウトについて ・班ごとのテーマについて ・新聞作りの上での役割分担について	・電子黒板
	10 ○タブレットPC及びPC教材の使い方の説明を聞く。	
	45 ○班ごとに、役割分担を決める。 ・紀行文、感想、写真、イラストなどを、話し合つて分担する。 ○タブレットPC及びPC教材で一つの新聞を班員全員で作成する。	・タブレットPC ・PC教材(写真1・2)
まとめ 50 ○本時の途中経過として、いくつかの班の新聞を電子黒板に提示し、教師が評価のコメントをする。次時の取り組みに必要な改善点等を指導する。		・電子黒板(写真3)



写真1: タブレットPCで個人が、調べたり、記事を入力



写真2: 班で、新聞のレイアウトを確認

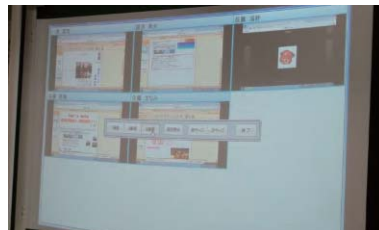


写真3: 電子黒板で他班の作品を見て参考に

児童生徒の反応

1人1台のタブレットPCを使うことにより、インターネットで、疑問に思ったことをすぐに調べたり、欲しいと思った資料をすぐに入手することも可能になり、より意欲的に取り組むことができた。

活用効果

評価の観点	集めたデータを班でどのように活用して、見やすい紙面作りを工夫しているか。
具体的変容	各班で、情報を活用していくことを通じて、話し合い活動を深めることができた。 修学旅行で体験したことをもとに調べ学習を行うことにより、訪問地の背景知識をさらに深めることができた。 文字データや画像データの扱い方を知り、PC操作をさらに習得することができた。

実践の手応え

作品として形に残り、また次の学習の機会（職場体験や文化祭）へのステップとして継続することができた。
調べ学習を通して、インターネットの活用力を身に付けさせ、著作権への意識を含めた情報モラル教育を実践する場となった。